

NECグループが取り組む「明日を創るイノベーション」

2009年11月5日・6日、「C&Cユーザーフォーラム&iEXPO2009」が東京国際フォーラムで開催されました。テーマは「明日を創るイノベーション ～人と地球にやさしい情報社会を目指して～」で、NECグループ各社が取り組むさまざまな製品・サービス・技術が講演、セミナー、展示とプレゼンテーションで紹介されました。



概要

多様で困難な課題に直面している企業活動において、ITはそれらの課題解決にどう貢献できるのか?人々の関心と期待が集まる中で開催された今回の展示では、「持たざるIT・コスト削減」「クラウドコンピューティングを支えるプラットフォーム」「環境/エネルギー」「安心・安全」「新技術/先端テクノロジー」「『情報の見える化』で競争力アップ」「新製品タッチ&トライ」「映像ソリューション」の8つのカテゴリー別ゾーンを設けて、NECグループが取り組む「明日を創るイノベーション」の数々が紹介されました。

持たざるIT・コスト削減!

このゾーンではNECグループが実際に取り組んでいる経営システム改革を事例として、そのノウハウから生まれたお客様向けのクラウド指向サービスプラットフォームソリューション¹⁾、業種共通サービス、生活者接点 (BtoBtoC) におけるサービス、コミュニケーション革新を生み出す製品、ソリューションが紹介されました。シンプルでグローバル対応かつ全体最適化を実現したIT活用を、実際の業務デモやシステム運用のデモに

よって、情報を一元的に「見える」ようにした技術をアピールしました。

また個別展示のブースでは、カードやモノ(製品)に組み込まれた各種RFIDからの情報を、マルチバンド対応のリーダライタとPaaS (Platform as a Service) 型プラットフォームサービス「BitGate」で一元管理してヒトとモノの流れを把握するソリューション(写真1)や、クロスメディア化するコンテンツ流通



写真1 BitGateで利用可能なRFIDタグサンプル

の現場で求められる高度なマーケティングニーズに、NECの得意分野であるクラウドとデジタルサイネージ技術を融合して応えるサービス、多くの導入実績で定評あるユニファイドコミュニケーションソフトウェア「UNIVERGE Spherical」²⁾によって生産・営業・接客の現場を結ぶ活用ソリューションのデモが行われていました。

クラウドコンピューティングを支えるプラットフォーム

クラウドコンピューティングは時代のキーワードとして世界中で関心が高まっていますが、それを効率良く安全に運用するプラットフォームへの期待が高まっています。今回の展示では、クラウド時代を支えるIT基盤「REAL IT PLATFORM Generation2」に基づいた次世代データセンター関連技術や通信事業者様向けのプラットフォーム技術が紹介されました。

注目を集めていたのは、ITとネットワークを融合する新技術、プログラマブルフローです。次世代データセンターにおけるネットワークの可視化、仮想化、マルチテナントを実現します。また、データセンターの省エネ、つまり「グリーン化」技術では、「データセンターまるごとエコ」を実現する省エネサーバやストレージなどと運用管理ソフトを一体化したファシリティソリューションサービスを紹介しました(写真2)。

環境／エネルギー問題への対策

新政権が2020年までに温室効果ガスの25%削減を打ち出



写真2 最新データセンターに対応するプラットフォーム製品

すなど、環境／エネルギーへの課題は一刻の猶予もない国民的課題です。NECグループはIT機器や照明機器及びその環境のグリーン化、見える化を進めるだけでなく、低炭素社会実現へ向けた技術の開発についても積極的に取り組んでいます。

展示会場で最も賑わっていたのが、日産自動車が発売する電気自動車「リーフ」と搭載されるバッテリーを紹介するコーナーでした(写真3)。「リーフ」は、加速性能、静かさ、ブレーキ時のエネルギーを使って発電する回生機能、IT技術を駆使したドライバーサポートが特長となっていますが、家庭での200V電源を用いた8時間の充電で160km以上(US-LA4市街地モード)も走行できるエネルギー効率の良さも魅力となっています。そのキー技術が、日産とNEC(NECトーキン)の合弁企業AESC社が生産するリチウムイオンバッテリーです。「リーフ」は、薄いラミネート構造のセル4枚を納めたモジュールを48個搭載しています。隣では、高砂製作所の電気自動車用急速充電器の「TQVC500M2」³⁾が展示されていました。

また、タテ型で折り畳める3枚翼を持った小型風力発電装置が展示されていました。これは、太陽電池とのハイブリッド発電も可能というもの。発生した電力で電子掲示板を稼働させ、ネットワーク化することで、災害などの緊急かつ最新情報を遠隔発信するシステムを併せて提案していました(写真4)。

照明器具では、急速に普及を見せているLEDランプ⁴⁾を展示。来場された多くの方々が、その省電力効果、CO₂削減効果に関心を寄せていました。



写真3 日産自動車の電気自動車「リーフ」(左)とリチウムイオン電池(右)



写真4 持ち運びできる小型風力発電機



写真5 災害地での情報収集などに役立てられる小型無人飛行機システム

専門的ながら、輸出関連事業の関係者が高い関心を寄せていたのは、REACH規制（欧州化学品規制）に対応する含有化学物質の情報管理ソリューション「ProChemist/AS」⁵⁾でした。これは部品、資材、梱包材の含有化学物質の質量把握とサプライチェーンでの情報伝達に役立つものです。

オフィス分野のグリーン化に関連したものでは、NECが掲げる「オフィスまるごとエコ」というコンセプトの下に、消費電力の見える化や環境対応プリンタ、エコPCなどとともに最新の製品「エネパル PC」も展示されました。これは、PCの利用状況を学習して自動的に消費電力を抑えるものです。



写真6 純国産の非冷却方式の赤外線カメラ

暮らし、社会、企業の「安心・安全」を考える！

突然の天災や新型インフルエンザなどパンデミック対策（汎発流行）あるいは情報漏えい問題など、近年、人々の暮らしや社会、企業の安心・安全が脅かされる事象や事件・事故が頻繁に起きています。今回の展示でも、これらの「安心・安全」を支えるたくさんの製品・技術が紹介されました。

例えば、職場におけるパンデミック対策として在宅勤務などが必要になった場合を想定し、セキュリティ機能と仮想クライアント機能をUSBメモリー、SSL/VPNによるセキュアなインフラ環境、省電力のWake-ON-LANアプライアンスなどを組み合わせた「リモートアクセスソリューション」が、NEC本社ビルと結んだデモとして紹介されました。カギとなるVPNアプライアンス「SecureBranch VM-Edition」⁶⁾は、いわばセキュアなイントラネット環境をそのまま外出先や自宅に広げるもの

で、6月に開催された「Interop Tokyo 2009」Best of Show Awardでグランプリを受賞しました。

自治体などの防災担当者らが関心を寄せていた展示として、「小型無人飛行機システム」⁷⁾とヘリコプター運航支援用赤外線カメラ「AEROEYE」⁸⁾がありました。前者は、翼長1.9m、モーター駆動の小型飛行機にカメラを搭載して約20分（航続距離にして10～30km）飛行するもので、あらかじめ登録した飛行経路を自律飛行し、映像と飛行データをリアルタイムで送信します。人が近づけない災害地などの監視・巡回・情報収集に役立てられます（写真5）。後者は、ヘリコプターなどの航空機に搭載し、夜間など視界不良時の視界補助を行う赤外線カメラで、非冷却型赤外線センサを内蔵した純国産品です。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）とNECとの共同研究で、

有効性も実証されたこのセンサの採用によって、従来のような輸入時の審査や手続きなどが不要になり、サポート面も迅速・確実になります(写真6)。

新技術／先端テクノロジー

このゾーンでは、最先端の製品やサービスを実現するNECグループの最新技術、宇宙開発や量子コンピュータなどの先端テクノロジーが紹介されました。

中でも人気を集めたのが、今年なにかと明るい話題の多かった宇宙開発分野でした。昨年に続いて国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟の紹介、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」に搭載されている観測センサ「TANSO(タンソ)」による二酸化炭素及びメタン濃度の解析結果の紹介、陸域観測技術衛星「だいち」によるエネルギー資源、環境資源の観測結果の紹介、小惑星探査機「はやぶさ」と「はやぶさ」に搭載されているイオンエンジン(写真7)の紹介などを通して、日本の宇宙開発に貢献しているNECの活躍が来場者の方々にも強く印象付けられました。

より身近な、というより身に着けるITとして注目されたのが、ウェアラブルコンピュータシステム「Tele Scouter」⁹⁾です。メガネ型ディスプレイとポケットに入る大きさのウェアラブルコンピュータ端末を身に着け、無線ネットワークでサーバとつながる構成の業務支援システムで、生産現場や保守作業の現場で、指示書やマニュアルを参照しながら作業を進められます。



写真7 小惑星探査機「はやぶさ」の模型(左)とイオンエンジンの試作機(右)(展示協力 宇宙航空研究開発機構)

メガネ型ディスプレイは情報画面が半透明に表示されるため視覚領域を狭めることはありません。会場では、日本語と英語の自動通訳を体験する体験デモ待ちの長い列ができていました。

組込み技術の展示もこのゾーンにあり、参考出展として、「無線内蔵小型環境センサ」が目をはきました。これは数cm四方の立方体に、人感(赤外線)、照度、温度、湿度、風速、加速度の6つのセンサとボタン電池を内蔵したもので、設置された環境情報を数値化して把握、近距離・低消費電力で無線ネットワークを実現する「ZigBee」で、パソコンやサーバにその情報を定期的送信します。応用として、状況の変化に応じてドアを開閉したり照明の照度を調節するといった機器コントロールが提案され、別コーナーでは、これと電源タップ(「グリーンタップ」)を組み合わせた製品のデモが行われていました。

競争力を高める「情報の見える化」

企業経営のスピードアップと業務効率化を実現するキーワードが「情報の見える化」です。このゾーンでは、業務・経営状況の見える化を推進するソリューションと日本企業のグローバル展開をサポートするソリューションのコーナーが設けられていました。中心となるのは、IFS ApplicationsのERPパッケージで、すべての業務プロセスにおける情報を、また国内外に点在する拠点の業務・業績を一元管理します。そしてその情報を基に、バランススコアカードの考え方に基づいたビジネスパフォーマンス機能でKPIの体系化、業績評価が可能になります。また、業種・業務別ソリューションに強いNECの製品である「FlexProcess」¹⁰⁾は、プロセス産業向けで、製造現場を持つお客様から高い支持を得ています。展示とデモでは、この実績を前面にアピールしていました。

新製品タッチ&トライ

パソコン、プリンタ、プロジェクタなど身近なオフィス商品群を「環境」「省スペース」「使いやすさ」の3つの視点から紹介するこのゾーンでは、実際に新製品に触れて体感していただきながら従来製品との性能比較などを説明していました。

PC関連では、省電力機能を強化した新製品や、新世代情報端末のモックなどが注目を集めていました。FC(ファクトリーコンピュータ)の「ShieldPro」¹¹⁾のデモは、ビデオカメラを接続



写真8 新世代情報端末モック（左）とShieldProの無線中継デモ（右）



写真9 16面連動の大型液晶ディスプレイ

して災害現場などに出向き、状況を実無線中継するといった想定で行われ、その堅牢さを生かす活用法をアピールしていました（写真8）。

また周辺機器としては、製造現場で使われる“カンバン”の印刷情報を繰り返して書き換え可能なリライタブルプリンタ、LEDカラーレーザープリンタ、投射距離わずか90cmで場所をとらない短焦点プロジェクタなどが紹介されました。

映像ソリューションも大集合

展示会場入口に当たるロビーギャラリーの一角に設けられたのが「映像ソリューション」のカテゴリーでした。圧巻なのは、46型ウルトラナローベゼル液晶ディスプレイ16面マルチ展示。また、来場者に強い印象を与えたのは、各種のデジタルサイネージコーナーで、人の動きを感知して映像が切り替わるショーウィンドウ型のセンサ連動ディスプレイ、ホテル・金融機関・ショップなど業種別に特化した情報の見せ方を工夫したサイネージ製品などが並びました（写真9）。

ほかにも携帯電話からWiFi接続でコンテンツ情報を送れるプロジェクタ、医療・印刷などの高精細画像を扱えるディスプレイ製品などにも多数のお客様が集まっていました。

参考 URL

- 1) クラウド指向サービスプラットフォームソリューション
<http://www.nec.co.jp/solution/spfsl/cloud>
- 2) UNIVERGE Spherical (ユニバージュ・スフェリコール)
<http://www.nec.co.jp/univerge/service/spherical>
- 3) 電気自動車 (EV) 急速充電器
http://www.takasago-ss.co.jp/products/power_electronics/sp/
- 4) 高効率／高演色 LED 搭載照明器具
<http://www.nelt.co.jp/products/facility/lifeled/>
- 5) REACH 対応含有化学物質管理ソリューション ProChemist/AS
<http://www.necsoft.com/soft/pchemist/as/>
- 6) SecureBranch VM-Edition (セキュアブランチ)
<http://www.nec.co.jp/sbranch-vme/>
- 7) 「小型無人飛行機による災害監視システムの販売を開始」(プレスリリース)
<http://www.nec.co.jp/press/ja/0906/0501.html>
- 8) ヘリコプター運航支援用赤外線カメラ「AEROEYE」
<http://www.nec.co.jp/geo/jp/products/aeroeye.html>
- 9) Tele Scouter (テレスカウター)
<http://www.nec.co.jp/solution/telescouter/>
- 10) FlexProcess (フレックスプロセス)
<http://www.nec.co.jp/flexprocess>
- 11) ShieldPro (シールドプロ)
http://www.nec.co.jp/fc/fcnote_series.html